

あいあいあい

I eye 愛

2017年

8月号



トマト定植作業の手伝いに行った組合員、仙台えんのう倶楽部のみなさんと生産者 7/8 於：クローバズファーム(七郷)

思いを共有できる作り手の

お米を食べ続けよう！

商品部 千葉ゆか

あいコープの宮城県内主力産地、七郷みつば会(仙台市)、大郷みどり会(大郷町)、はさま自然村(登米市)。いずれの産地でもよく耳にするのは「今年も任せられる田んぼが増えたんだ」という声。これは地域で米作りを営んでいた人が高齢や作業負担の軽減などの理由で、米作りを担える生産組織や農家に田植えなどの作業を委託しているためです。増えていく面積が1ヘクタール(100×100m)単位と広く、毎年米作りの担い手が減っている現状を聞くと、驚かすにはいられません。作業委託を受ける側は少ない人数で広い面積の田んぼを管理することになり、田植えや除草、稲刈りなどの負担が増えていきます。

そんな中、あいコープは「農薬削減」「ネオニコチノイド系殺虫剤不使用」を基本に、目

指すは「除草剤不使用」「有機栽培」とさらに高いレベルの産直米を産地へ求めていきます。米作りは年に一度の収穫、天候に左右され、暑い中での作業も当たり前。産直米の産地では、30〜40代が主力となつて楽ではない作業に励んでいます。

生産者たちが「環境に優しく、安心して食べられるお米を」との思いに込めて今後10年、20年と同じようにお米を作り続けてくれるために、私たちは何が出来るでしょうか。それは私たちが毎年きちんと採れたお米を食べ続けることです。今はまだ量販店でも各地のブランド米を手頃な手に入れることができますが、10年先はわかりませんが、毎日食べる主食だからこそ、思いを共有でき、会いに行ける作り手のお米を食べ続けましょう。

CONTENTS

- ▶ あいコープのお米を食べましょう …1
- ▶ 電力小売り事業スタート …4-5
- ▶ NPOとうほく食育実践協会セレクトショップオープン …7
- ▶ 石けんキャラバン隊デモンstrーション開始…2
- ▶ まんま通信のあるくらし 間宮商店訪問 …6
- ▶ ていねいなくらし あいコープの玉ねぎで染物 …8

「石けんでお洗濯」のコツを教えます

バケツ型ミニ洗濯機でキャラバン開始!

石けん環境委員会では、この春「バケツ型ミニ洗濯機」を購入しました。理由はただ1つ、組合員のみなさんに石けんの泡立ちを実際に目で見てもらうことです。

6/20に若林地区、7/7にしおさい地区で「せっけんカフェ」を開催しました。最近では液体石鹸が主流になってきていて、また洗濯機も全自動なので、ミニ洗濯機での実演を見た参加者からは「こんなに泡が立つなんて思わなかった」「ボタンを押してそのままなので、中がどうなっているのかわかる機会がなかった」「久しぶりに石けんの泡を見た」という声がありました。



6月20日若林地区
せっけんカフェ

持ち運びが出来る
バケツ型ミニ洗濯機



があります。泡の力で汚れを落とすとしてくれるので、泡立っていないとその効果が発揮されません。よく泡立てれば、洗濯物に溶け残りが着いてしまうこともなく、洗濯槽のカビ防止にもつながります。また、水も今の暑い季節でしたら水道水でも大丈夫ですが、ぬるま湯の方が石けんが溶けやすく洗浄力もアップします。

しおさい地区「せっけんカフェ」では、8月から粉せっけん水ばししようが



7月7日しおさい地区

実験で石けんのクセを 学びました!

- 汗べっりの衣類をそのまま洗濯してしまうとどうなるか実験
塩水+石けん→べとべとに

だから予洗いが大事!

- 食器洗いの時に、酸性の汚れが残っているとどうなるか実験
お酢+石けん→白濁 (ぬるぬるに)

**だから汚れは
軽く拭きとってから!**

リニューアルするので、旧水ばししようとの比較実験も行いました。新しい方が米ぬかの香りもマイルドになっていて、泡立ちも良かったです。

他にも梅雨のじめじめした季節に活躍の酸素系漂白剤の使い方や、クエン酸の使い方も実演しました。参加者からは「酸素系漂白剤が余っていたので、使い方を知れてよかった」「石けんを使うようになって手荒れがよくなった」とのご意見や感想を頂きました。あいこープでは合成洗剤を一切扱っていません。石けんを初めとした石けん製品は自然に還ります。人にも環境にも優しい石けん、使ったら石けんを。

11月には石巻地区や仙南・太白地区合同での「せっけんカフェ」の開催を予定しております。あいこープ自慢のおいしいスイーツもご用意しますので、ぜひご参加ください。

石けん環境委員会担当理事 佐藤美恵

粉石けんは よく泡立て 使うのがコツ

●泡立て方その1

洗濯機に粉石けんを入れて「洗い」で2~3分間、回す。

●泡立て方その2

バケツに粉石けんを入れてシャワーにして水を入れ、よく溶かしてから洗濯槽へ。





おいしい! たのしい! だいすき! あいコープ

新しい組合員さん向け試食会を開催しました

6/23 太白地区委員のコレおすすすめ! 試食会を開催しました。太白地区委員みんなで「これ美味しいからよく買っているよ。」とそれぞれ意見を出し合いメニューを決めました。簡単で美味しくて家計と体に優しいお料理には米粉パンコロッケサンドとさんま缶の炊き込みごはん、セルフ味噌汁を用意。素材をそのままで味わってもらいたいハムやさつま揚げ、お豆腐、牛肉豚肉、鰻、鯖塩焼き、プリンなどなど、全部で13品をきれいにビュッフェ方式に並べて、取って頂きご試食!!



家計と体に優しい試食品が盛沢山!

あいコープに加入して1年未満の新しい組合員さんに、まんま通信でしか買えない商品のおいしさを試してもらう試食会が地区委員会によって開催されています。6月23日太白地区で開かれた試食会の様子を地区委員の唯野さんに報告してもらいました。



「プチパ」メニュー試食。
「エビが臭くなくてプリプリして美味しい!」

食べた事のない食材、こんな食べ方があったなんて!と皆さん一品一品味わって頂きました。「プチパーティー」のデモンストレーションでチーズフォンデュも食べ大満足でした
私は委員になり10年目になりますが、こんなに美味しい食材がまんま通信にあったなんてと私自身もレパートリーの広がった大試食会でした。

太白地区委員 唯野留美



→商品部職員のまんまの読み方講座



うなぎの白焼きや牛肉焼肉用も試食しました。←

「日本の種子(たね)を守る会」が設立されました



7月3日 於: 参議院議員会館 講堂



2018年3月末で主要農作物種子法(種子法)が廃止されます。それに代わる新たな種子を守る法制度をつくらうと、あいコープも発起人となって日本の種子(たね)を守る会が設立されました。

種子法廃止による影響はさまざま上げられますが、第一に主要穀物の多様性がさらに失われることがあります。全国にある農業試験場では、その地域に適した作物の品種改良をしたり、農業技術の開発などを行っています。宮城県の古川農業試験場は、ご存知「ササニシキ」や「ひとめぼれ」などの米を生み出した試験場です。このような全国的に普及を奨励する品種の他、特定の地域や目的のために改良された品種例えば鳴子の「ゆきむすび」や、玄米食や米油に適した「金のいぶき」などがあります。行政が種の保存や遺伝資源を繋ぐことを民間に任せてしまつたら、こういった流通量の少ない品種は切り捨てられてしまうかもしれません。そしてバイオアグリ企業に種を生耳られ、私たちが望まない遺伝子組み換え品種しか市場に出回らなくなる可能性があります。

国の食料安全保障の姿勢を問うのはもちろん、食料主権が脅かされるのでは、

とても不安です。多様な種子の中から育てたいものを選び、食べたいものを育てる。当たり前を守るために、やはり「種子法」は必要です。

FIT 電気(再生可能エネルギー) 比率 100%を目指します。



再生可能エネルギーとは、原子力や化石燃料(石油、石炭、天然ガス)など有限なエネルギーではなく、太陽光、風力、水力や地熱など常に自然界に存在し、一度利用しても短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギーのことです。パルシステムでんきの2017年度計画値は、再生可能エネルギーの比率が87.2%と業界トップクラスになっています。



顔が見える、中身が見える エネルギー



ひつぽ電力代表 目黒忠七さん



あいコープも参加した発電所完成記念式典

脱原発エネシフ委員会と自然エネルギーナビゲーターのメンバーが、ソーラーパネル設置や完成記念式典に参加し、交流を続けてきた丸森町の「ひつぽ電力」が、パルシステムでんき「発電産地」のひとつになりました。福島第一原発事故によって深刻な放射能被害を受けたことから、再生可能エネルギーによって地球を再興したいと、地元有志で立ち上げたひつぽ電力。これからもっと交流して、「再エネ村構想」を応援していきましょう。

プラス 100円ではじまる 未来づくり

あいコープが取り扱う電気の料金には、東北電力と同額料金の発電産地応援金 100円が上乗せされます。組合員のみなさんからお預かりした応援金は、電気の生産者に届けられ、新たな発電所の建設準備や発電所の運転経費などに活用されます。再エネ発電所のさらなる普及促進や、地域市民、生産者による再エネ発電所の新設件数の拡大、地域経済の発展を目的としたしくみです。



9月申込み受付開始
10月から順次スタート!



お申込み詳細については
8/21~配布の
チラシをご覧ください。

食の産地に続いて、**エネルギーの産地**ともつながります

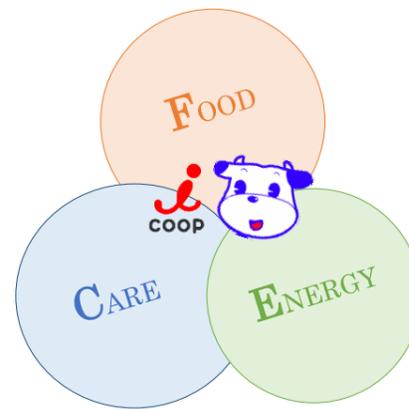
いよいよ、あいコープが組合員の皆さんにF I T電気(再生可能エネルギー)を中心とした電気をお届けできるようになります。私たち組合員は日ごろ、生産者に安全な肉や野菜を作り続けてもらい食べ続けるために買い支えています。同じように、原発に頼らないエネルギーを作る地元の生産者(発電産地)を、電力会社を切り替えることで『買い支えて』行きたいものです。

目指せ、F E C 自給圏。



脱原発・エネルギーシフト委員会担当理事 鈴木真奈美

経済評論家の内橋克人氏が提唱する【F E C自給圏】という考え方があります。F(フード) E(エネルギー) C(ケア…福祉)の頭文字で、小さな地域・集団でそれらを賄うというものです。あいコープには地産地消の食物と、互いにケアし合うジョイケアの制度があります。ここに産地が見える電気が加わったことで、ひとまずF E Cの自給に近づけよう。今後はこの活動をしっかりと続け確かなものにし、真のF E C自給圏と言える社会を拓けて行きましょう。そこでは輸入に頼った食物も、命を脅かす原発も、間違いなく不要です。



組合員さんの声 再生可能エネルギー中心の電気を買えるのが嬉しいです

原発事故以来、こんなに恐ろしい物で作った電気に頼る生活ではいけないと思うようになりました。かと言って火力発電も、石油、石炭や天然ガスを燃やすのでCO₂を多く排出し環境に良くありません。だからなるべく節電して暮らしているけれど、全く電気を使わないわけにはいかないし。



脱原発・エネシフ委員 櫻井洋子

ずっと再生可能エネルギーで暮らしていけるようになればいいなと望んでいたのが、今回あいコープでF I T電気(再生可能エネルギー)中心のパルシステムでんきの取り扱いが始まると聞いて本当に嬉しいです。多くの人々が利用し、F I T電気(再生可能エネルギー)がどんどん普及すれば、各地に小さな再エネ発電所がたくさんできて、原発なんて無用の社会になるはず。そんな日が来ることを夢見てワクワクしています。

おだいのたねまき



報告 九州北部豪雨について

この度九州北部豪雨で被害にあわれたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

あいコープの生産者である藤井養蜂場(福岡県朝倉市)が被災しました。会社の床上まで浸水しましたが、土砂などの被害は免れ、従業員と家族もみなさん無事だったとのことです。藤井養蜂場は朝倉市の中でも被害の大きかった地域にあり、従業員の多くが家屋に被害を受け、しばらく会社工場で寝泊りしている状況だったそうです。今後の生活の再建には時間がかかりそうです。あいコープみやぎでは藤井養蜂場さんに組合員のみなさまからお預かりしている提携生産者・被災地への支援準備金からお見舞金をお送りいたしました。

シリーズ 畜産について考える ②環境汚染

畜産経営において家畜排泄物を適切に管理しないと、悪臭や水質汚染といった環境問題が発生してしまいます。家畜排泄物を積み上げて放置しておく「野積み」や地面に穴を掘って貯めておくだけの「素掘り」などが環境問題の原因となってしまいます。しかし、きちんと処理された排泄物は堆肥という貴重なバイオマス資源となり土壌を豊かにします。家畜糞尿を産業廃棄物とせず、堆肥などの農業資材にして農家と連携した地域循環をすすめる必要があります。あいコープの畜産生産者は積極的に耕畜連携に取り組んでいます。



始めよう！続けよう！ 石けん生活

せつけん運動ネットワーク
シャボン玉フォーラム報告

限りある貴重な資源、命をつなぐ水を大切に

6月17日・18日に長野県塩尻市にて、せつけん運動ネットワーク主催の「2017シャボン玉フォーラムin長野」が開催されました。森林県長野ということもあり、「長野発 水物語！豊かな森が水を育てる」をテーマとし、石けん使用を入りに、水環境を守る視点から幅広く暮らしを見直すために私たちが出来る事を全国の仲間と共に考えました。

基調講演では、京都大学防災研究所の田中賢治准教授から「どうなる？水資源」と題し、今世界中の水資源が逼迫状態にあることを学びました。田中氏は、気候変動や社会経済的な変化を踏まえて緻密に算出された将来の水資源のありようを予測しており、持続可能な水利用がどうあるべきかをお話されました。

日本では、現在の多雪地域で河川の流れが大きく変わることにより、田植えの時期の水不足が懸念されています。これまでは必要な量を使ってきた需要ベースの水資源ですが、結果として世界

各地で水資源の枯渇や環境破壊を進行させてしまいました。これからは、毎年供給される水量やそのばらつきに基づき、供給量の範囲内で水を使う供給ベースに移行する「水を節約する必要がある」とのことです。

会場ロビーには、石けん運動推進ポスターの展示や、香害についての各自自治体の取り組み報告、書籍の紹介・各石けんメーカーの展示等があり、情報交換の場となりました。

限りある貴重な水、命をつなぐ水を大切に、次世代に豊かな環境と美しい地球を残すためにも、全国せつけん運動ネット



トワークの活動をこれからも盛り立てて行こうと思えます。

理事長
高橋千佳

まんま通信のあるくらし

4/21・6/2
泉A、B地区
工場見学
報告

確かな原料、丁寧な作業、適切な設備で 美味しい間宮商店の干物



4月21日と6月2日の二回に渡り、泉A・B地区委員会は塩竈市の間宮商店の工場見学に行きました。間宮商店は「サバふくら干し」をはじめとするこだわり干物の生産者です。

工場は、東日本大震災で被災した旧工場から、塩竈市場すぐ近くの場所に移転、新築したそうです。これを期に、工場ラインを大幅に見直し、より衛生的に・味のムラがない製品を安定して作れる設備に更新されました。

もともとマグロ問屋だったため、間宮商店は原料の目利きにとっても強いこだわりをお持ちです。産地・漁獲時期を吟味して、今の消費者の好みに合うしつかりと脂のつた原料を確保しています。冷凍材料を加工す

る前にミストでじっくり10時間ほどかけて解凍して旨味が流れ出るのを防ぎ、素早く捌きます。「魚も人と同じで、一匹一匹顔かたちが違う」から、人の手で作業するのだそうです。

2017年7月4日(火)
▼6月8日通常総代会の振り返りを行なった。▼今期の役員報酬を決定した。▼今期の委員活動費及び委員会活動予算を決定した。▼「どうする？我が家の電気代、発電産地とつながろう」企画書及び「おさらいカフェ」企画書を承認した。▼天童産地交流会企画書を承認した。▼「みんなであいごほん2017」企画書を承認した。▼環境学習会(高田秀重氏講演会)企画書を承認した。▼新PB油揚げ開発へ向けて更に試作を進める旨の提案を承認した。▼地元カット野菜業者との提携であいコープ独自の「食材セット」開発を進める旨の提案を承認した。

理事会議事録抄

組織概要 (2017年6月分)

【組合員数】	13,407名
【供給高】	198,246千円
【一人実利用高】	5,393円/週
【出資金】	1,107,216千円



●まじめに安全、美味しいを追求しているあいコープって、いいね。

宮城野区 佐々木直子

「食育コンダクター」といつでも話ができる場所ができました



食の知識が豊富な食育コンダクターがスタッフとして常在している

今回オープンしたセレクトショップは、小さなかわいらしいスペースではありますが、書籍チラシ「本のれすとらん」に掲載されている本を実際に手に取ることもでき、ランチも楽しめます。食育コンダクターとの会話を楽しみに、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

6月21日、仙台市青葉区八幡にあるNPO法人とうほく食育実践協会の新事務所に、セレクトショップ「食Lab Little Beans」(じょくらぽりトルビーズ)がオープンしました。
このNPOは、あいコープみやぎが母体となつて設立された、「食の自給と安全」の立場から、食育知識の普及、食育の推進者・指導者となる「食育コンダクター」の養成や派遣などを行い、食育活動を広める団体です。食育コンダクターは、あいコープが主催する料理講習会などの講師を務めたり、食育講座を開催したりしています。



あいコープでお馴染みの商品を始め、コンダクターおススメの逸品が並び

食Lab Little Beans

営業：火～金 11:00～16:00
不定期で土曜も開店
定休日：日・月・祝
ランチ・お弁当は要予約
住所：青葉区八幡1丁目1-19
コープはし本1F
Tel：022-7977-7063



私たちが青葉Aエリア担当です



こんにちは、青葉A地区の竹内康雄です。メンバーを紹介します! 安藤孝平、野澤亮悟、松谷洋良、車田貴紀の5名と7月から新入職員が入り6名で頑張ります!

これから新しいメンバーも入りますので、ますます「明るく、元気に」をモットーに、組合員の皆様にお役に立てるようチーム全員で助け合いながら頑張っていきます。これからもよろしくお祈りします!

青葉A地区 エリアリーダー 竹内康雄

編集後記

このところずつとですが、「なぜそんなことが起きるの?」と思うような非人道的な事件が立て続けに耳に入ってきます。

健康や心に影響があると言われるたくさんの物質。それを避け続けたら、社会が、人が、穏やかになるのではないかしら。例えば、SN、S、マホ、農薬、合成洗剤、香料、食品添加物、遺伝子組み換え食品、PM2.5、排気ガス、放射性物質、よくわからない物質たくさん。を避けるくらし。ああ、こうしてみると、随分と身体も環境も汚れてしまっているんですね。これ以上汚さない、カッコイイ大人でいよう。

広報担当理事 高野 恵美子

●機関紙あいあいあいのご意見・ご感想

組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、配送もしくはFAX(022-284-6973)にて、あいコープみやぎ理事会へ広報宛にお送り下さい。

組合員の皆さんの『つばやき』も大募集中!

ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。

個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

組合員が利用できる電話相談

- 8/8 年金相談
相談員：社会保険労務士 兵藤政行氏
相談時間：13:30～15:30
- 8/8 法律相談
相談員：弁護士 松澤陽明氏
相談時間：13:30～15:30
- 8/22 ぐらしの相談
相談員：消費生活専門相談員 加賀淳子氏
相談時間：10:30～12:30
- 8/23 子ども相談
相談員：宮城教育大学教授 菅井裕行氏
相談時間：10:00～12:00
- 8/18 思春期相談
相談員：臨床心理士・スクールカウンセラー 北條貴子氏
相談時間：9:30～11:30

お申込み・お問合せはジョイケア事務局へ



022

284-7277

平日 9:00～17:00

電話相談について

- ▶各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい。随時受け付け可能です。
- ▶予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。

ジョイケア利用状況 (2017年5月分)

ささえあい(保障)	1件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	40件	利用延べ人数	49名
集団託児	17件		
慶弔・出産	10件	◆ケアメイト	
電話相談窓口	1件	稼働延べ人数	55名
計	69件		



● 皆で考えるところ、無農薬の野菜が食べられるところがあいコープのいいところ。 泉B 山本穂子

手をかけて、気持ちを込めて
時間をかけて作り上げる幸せ。
丁寧に暮らす贅沢をご一緒に。

その三、玉ねぎの皮で染め物



玉ねぎ染めの手順

<染料液を作る>

鍋にたっぷりの水と玉ねぎの皮を入れて煮出す。

<媒染液を作る>

鍋にお湯と焼ミョウバンもいれて溶かしてから
布が十分に浸るぐらい水を足す。

<染める>

- ① 布を染料液に入れて、煮る。
- ② 絞った①を媒染液にいれ、ゴム手袋をしてもみ洗いをする。
- ③ ②をよく水洗いし、絞る。
- ④ 再び染料液に入れて煮る。
- ⑤ 火を止めて少し冷めたら水洗いし脱水する。
- ⑥ 太陽の元に干して完成。

焙煎液の割合…布 100g に対してミョウバン 4g

詳しいレシピを知りたい方は下記までお問い合わせください。
0120-255-044 組織運営室 豊嶋

染料液を作り、染め→媒染→染め→完成までの作業はとても楽しいものです。玉ねぎの皮を使う場合、染料に漬けた時は濃い肌色のような地味な色合いです。ミョウバン焙煎液にひたした途端、ぱあっと鮮やかな黄色に変化します。びわの葉の染め物もおススメですが、同じびわであっても、染める布の素材やどの時期に採取したものかなどによって染め上がりに差がでて、まさに一期一会の楽しみになります。あいコープには農薬不使用の玉ねぎがありますから、それを活かさないのはもったいない。玉ねぎを食べるたびに少しずつ皮を貯めて、貯まったらたっぷりの染料を作って色褪せた綿のTシャツなどを染めてみるのも面白いかもしれません。綿や麻を染める際は、前もって呉汁や豆乳に浸して下処理をしておくときれいに染めることが出来ます。



①皮は水洗いで汚れを落としてから煮る



③ ミョウバンの焙煎液に浸す



②ムラがでないように



染料液のみ

媒染液に浸した後

Calendar *今後のイベント*

8/23(水) 事業部
太白・仙南地区限定
チーズフォンデュ試食会
組合員+ゲスト1名でお申込みください

場所/ エコパレットなとり(仙南ガス株式会社)
時間/ 11:00~13:00 参加費/1組500円

8/26(土) 脱原エネシフ委員会
どうする?我が家の電気代
~発電産地とつながろう~

場所/ エルパーク仙台 スタジオホール
時間/ 13:30~15:30(終了予定) 参加費/無料
講演/ 飯田哲也氏
トークセッション/飯田哲也氏xひっぽ電力

9/9(土) 石けん環境委員会
環境学習会
合成洗剤・環境ホルモン
マイクロプラスチック(仮)

場所/ 国際村セミナー室 菖蒲田海岸
時間/ 10:00~12:00 参加費/100円

9/12(火) あいあいあい編集部
 balanゴンバナナ学習会
あなたはどのバナナを選びますか
~フィリピンバナナと私たち~

場所/ 日立システムズホール仙台 エッグホール
時間/ 10:00~12:30 参加費/無料

地区委員さん募集中! 一定例会見学も受付中~

地区委員会とは

楽しい!
おいしい!
学べる!!

あいコープの仲間だから
本音トークができます。

お問い合わせ先
☎ 0120-255-044
Fax 0120-849-324

Email soshiki@mamma.coop
(担当:組織運営室長 豊嶋)

